

おだがいさま

odagaisama

第 80 号
平成 31 年
2 月 1 日発行

若い力を地域のために
鶴岡青年会議所として
できることを



公益社団法人鶴岡青年会議所
2018年度理事長
佐藤 航さんにお話を伺いました。

「災害時の応援協定」を結びました。

去る 12月26日、公益社団法人鶴岡青年会議所（鶴岡JC 2018年度佐藤航理事長）と鶴岡市社会福祉協議会（山木知也会長）は、「災害ボランティアセンターの運営等に関する協定」の締結式を行いました。鶴岡市で災害が発生し災害ボランティアセンターが設置された時に、鶴岡青年会議所より人的、物的支援の協力を頂き、ボランティアセンターの運営体制の強化を図るためのものです。

締結式には関係者約20人が出席、山木会長が「高齢者や障がい者の方々への支援も必要で、有事の際にマンパワー確保に大きな課題があった。JCの協力はありがたく心強い」、佐藤理事長が「訓練を通し、災害の知識を得ることが必要。家族や会社も守らなければならないが、それが解決した時に地域の力になりたい」とあいさつし協定書を交わしました。

・鶴岡青年会議所の活動を教えてください

皆さんのイメージは、「赤川花火大会」や「わんぱく相撲大会」が先に頭に浮かんでくるとと思います。2018年度ではその他に女性の働く環境づくり、ユニバーサルデザイン事業、防災に関する研修等を行いました。私自身JCでこういった活動をしていく中で、青年会議所が「まちづくり」「人づくり」の団体だと改めて感じています。

・今回の協定に至った経緯について

私がJCに入会した頃、2011年の東日本大震災に全国各地のJCが応援に駆けつけてくれたことを思い出します。毎年、市社協の皆様とともに、災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルの策定委員会や、市総合防災訓練の災害ボランティアセンター設置訓練などにスタッフとして携わせて頂き、情報交換や交流を深めてきたことが今回の協定に繋がったと思います。

・今後の活動について

今まで以上に市社協の皆様と交流を深め、ともに学んでいきたい。また、今回の協定の想いをしっかり伝えていき、おだがいさまの精神を育てていきたいと思っています。

年頭のご挨拶



会長 山木 知也

あけまして、おめでとうございます。
皆様には、平成最後のお正月を穏やかに
お迎えになられたこととお喜びを申し
上げます。また、昨年中は社協の活動に
多大のご協力をいただきましたことに感
謝を申し上げます。

今年もまた、鶴岡市社会福祉協議会は
役職員が一丸となって、一人でも多くの
市民の幸せを願い、皆様のご協力を仰い
で地域福祉を進めるとともに、各種の福
祉サービスを提供して参ります。

平成の社会福祉は、様々な改革のもと
実りの多い時代であった一方で、制度の
狭間に取り残された方々がいることが明
らかになった時代でもありました。

新しい年号で始まる新しい時代は、こ
うした方々の生活課題をどのように見つ
け、手助けしていくことができるかが大
きなテーマになります。

社協の活動もこうした視点で、これま
で以上に力を尽くして参ります。本年も
どうぞよろしくお願いいたします。

第10回

シリーズおじゃまします

大泉地区

こころも足元も暖まる

『高齢者支援事業(靴下訪問)』

市内の地域福祉活動を紹介するシリーズ

大泉地区は夏に最盛期を迎える鶴岡の特産物だだちや豆の生産が盛んな地域です。人口4,273人、高齢化率26.7%、15自治会。(住民基本台帳より平成30年3月31日現在)

少子高齢化が進む中、大泉地区では地域で元気に暮らしていけるように独自の健康事業や気づきの地域づくりを目指して「福祉マップ作成」「高齢者支援事業」を含む見守り活動事業等に取り組んでいます。

地域の高齢者へできること

福祉サービスが現時点では必要ない方・福祉サービスを利用しながら在宅生活を送っている方で日常生活での困りごとや悩みを抱えた方へ何か地域でできる支援はないかと考え、平成十五年より大泉地区社協で「高齢者支援事業(靴下訪問)」が始まりました。大泉地区内の七十五歳以上の一人暮らし高齢者や高齢者世帯、寝たきりや障がいがある方などの要支援者へ十二月中旬頃に民生児童委員の協力のもと、一軒一軒に大泉小学校の子どもたちからの手紙と暖かい靴下、お菓子の入ったプレゼントを届け、健康状態や日常生活の困りごと、冬の暖房器具の注意など声掛けをしながら訪問しています。また、高齢者支援事業には除雪支援もあり、玄関から道路まで人が通れる程度の除雪作業を行った際に謝礼を出す独自の仕組みがあります。

高齢者支援事業を通して

高齢者支援事業により心あたたまるプレゼントを受け取られた方々からは、「今年もいただいてもつけど。一人暮らししていてこんなふうに声をかけてもらって、プレゼントももらって感謝の

気持ちでいっぱいだ。」「子どもたちからの手紙も毎年とても楽しみにしている。」「と感謝の気持ちを笑顔で話されていました。年の瀬近くに行われるこの訪問活動による支援事業は、高齢者の方々や要支援の方々の冬期間における安心した暮らしの確保という効果があり、また、地域の子どもたちから手紙を書いていただくことで、受け取られた方々の生きがいと、子どもたちの福祉意識の向上につながっています。

大泉地区社会福祉協議会では、今後も進展する超高齢化社会に対応するため、高齢者支援事業を活かした新たな見守り・支え合いの仕組みづくりを検討し、地域ぐるみによる、お互いがお互いを思いやる地域づくりをこれからも進めて行きます。



『もつけどのお』

福祉の心(種)を育てたい



福祉学習とは？

小・中学校での福祉学習は、福祉体験を通して地域に目を向け、地域を知り、そこに住む人を知ることから始まります。

地域の問題を他人事ではなく、自分の問題として捉え、「気づき」と「学びの場」として様々な取り組みを行っています。

福祉学習のメニューとして、主に高齢者や障がい者の疑似体験や福祉についての講座等行われています。

福祉学習を体験した子ども達の感想

- ・手話で言葉が通じるということを初めて知りました。
- ・歩くのが怖かったけどサポートしてくれる人の声が聞こえると安心しました。
- ・小さいころに車いすには何度か乗っていたけれど、今回の体験で怖いと思った。でも声をかけられたら安心することがわかりました。
- ・協力とか支えあうことが大切だと思う。これから先もいろんな人に支えられて生きていくと思うので、そういう方々に感謝の気持ちを忘れずに過ごしたいです。
- ・困っている人がいたら手助けしたいと思った。



こころの授業



高齢者疑似体験



ゲストティーチャー(障がい当事者)との交流



車いす疑似体験



視覚障がい疑似体験



手話体験



福祉についての講座

ふくしの種

福祉学習実施団体の中から活動を紹介します

わくわく・ドキドキ 新感覚 花笠ほ一ぶ隊の「知的障がい・発達障がい疑似体験」

花笠ほ一ぶ隊とは…

障がいのある人も、ない人も地域で楽しく過ごせるような街づくりを願って活動している「知的障がい・発達障がいの理解啓発」活動を行う団体です。障がいのある子どもを持つ親や特別支援学校教員、相談支援事業所職員、活動に賛同し協力して下さる一般の方で構成されています。現在22名の会員で、市内の子ども会や地域での研修会、山形県消防学校など県内外から依頼もあり幅広く活動を行っています。

研修内容は、知的障がいや発達障がいのある人たちの個性的な行動や感覚などの障がい特性を、わかりやすい「疑似体験」を通し、知っていただき、彼らのよきサポーター(理解者)となってもらえるような研修を行っています。活動を通して、理解者が地域で増え、誰もが住みやすい地域になって欲しいと思います。活動に興味のある方はご連絡をお待ちしています。

《連絡先》「山形県手をつなぐ育成会」(担当 古澤)

依頼専用メールアドレス: vssv6002@gmail.com

TEL: 023-623-6572 FAX: 023-623-6571



介護福祉士国家資格を目指す方へ 【平成31年度介護職員実務者研修通信課程】

- * 期間 平成31年4月～12月 通信＋スクーリング
- * 費用 70,000円～145,000円
- * 申込 平成31年2月28日(木)まで
- * 定員 18名(定員になり次第締め切ります)
※保有資格により期間・費用が異なります。詳細はお問い合わせ下さい。
鶴岡市社会福祉協議会事業推進課 TEL24-0053
※介護福祉士実務者研修受講資金貸付については山形県社会福祉協議会へお問い合わせ下さい。

鶴岡福祉バス抽選会 事前申請受付 (平成31年4月～6月分)

- 鶴岡福祉バス抽選会のための事前申請を次の日程で受け付けます。
- * 対象期間 平成31年4月～6月
1団体1回の予約ができます。
 - * 利用対象者 旧鶴岡市域に住所を有する個人または団体
 - * 申請期間 平成31年2月1日(金)～2月15日(金)
 - * 抽選日 平成31年2月22日(金)
 - * 申込み・問合せ 鶴岡市社会福祉協議会総務課
TEL24-0053 (申請書は同所にあります)

わくわく居場所づくり研修会 ～場所づくりについて学ぶ～

- * 日時 平成31年2月28日(木) 午後1時20分～4時
- * 会場 鶴岡市総合保健福祉センター にこ♥ふる3階
- * 内容 市内での活動紹介
①粋々サロン男塾(男性だけの様々な活動)
②NPO法人明日のたね(子育て支援等)
③NPO法人ばらんだす(空家活用で子ども食堂、カフェ等)
- * 講話
演題:「これから、どんな居場所がほしいですか」(仮題)
講師:NPO法人れんげ舎代表理事 長田英史氏
- * 問合せ・申込み
鶴岡市ボランティアセンター TEL23-2970
※事前申込みは2月20日(水)まで

ご寄付ありがとうございました

みなさまのご厚志に心より御礼申し上げます。
(平成30年11月9日～平成30年12月31日までのご寄付を掲載しています)

★一般社会福祉事業へ

◎鶴岡福祉センターへ

- ・匿名 フードバンクへ/食料品16品
- ・匿名 フードバンクへ/野菜3種
- ・石巻市湊地区「みんなと行く兵衛茶屋」様
作り手さげ袋23枚
- ・(有)畑田鐵工所 様 146,584円
- ・真如苑 庄内支部 様 200,000円
- ・真言宗豊山派仏教青年会 山形二支所 様 96,700円
- ・鶴岡市立荘内看護専門学校 看護祭実行委員会 様 10,000円
- ・アサヒ総建(有) 様 100,000円
- ・鈴木 貞子 様 30,000円

◎藤島福祉センターへ

- ・藤島地域婦人会 様 5,000円
- ・東堀越アンパサダーフリマ実行委員会 様 2,687円

◎羽黒福祉センターへ

- ・田川建設労働組合羽黒支部 様 5,000円

◎鶴引福祉センターへ

- ・鶴引地域婦人会 様 10,770円
- ・黒井 一男 様 チャイルドシート1台
- ・上野 道雄 様 フードバンクへ/米30kg

◎朝日福祉センターへ

- ・田川建設労働組合朝日支部 様 10,000円

- ・五十嵐 金昭 様
フードバンクへ/精米60kg、じゃがいも1箱、白菜2玉、もち米6kg

◎温海福祉センターへ

- ・糸の会 様 5,500円
- ・筒井 竹夫 様 10,000円

★地域福祉センターなえづへ

- ・三井 照代 様 10,000円
- ・(株)産直あぐり 様 りんご2箱

★老人デイサービスセンターふれあいへ

- ・(株)アークベル 様 車椅子 1台

★高齢者福祉センターおおよまへ

- ・尾浦福祉理容会 様 壁掛けパーバーサイン1台
- ・三浦 恵子 様 肌着13枚、浴衣生地2反

- ・匿名 100,000円

- ・鶴岡市立大山小学校 様 15,000円

★老人デイサービスセンターおおよまへ

- ・工藤 七三郎 様 門松 1対

★老人デイサービスセンターたかだてへ

- ・工藤 節子 様 干支置物 12体

★とようら老人デイサービスセンターへ

- ・小波渡婦人会 様 コーヒーセット1箱
- ・日本生命労働組合山形支部 様 ふれあいほっぴ運動事務局 様
バランスボール 22個

- ・工藤 七三郎 様 門松 1対

★鶴引すこやかセンターへ

- ・(株)産直あぐり 様 りんご4箱
- ・工藤 七三郎 様 門松 1対

★温海デイサービスセンター愛寿園へ

- ・加藤 仁 様 30,000円
- ・三浦 正也 様 20,000円
- ・(株)アボリス温海「道の駅しゃりん」様 30,000円
- ・丹治 敏 様 50,000円

★もみじが丘へ

- ・(株)産直あぐり 様 りんご2箱

★特別指定寄附

よつばの里、ゆきやなぎ(青柳作業所)、絆の絵(レインボー広場)へ

- ・庄内ヤクルト販売(株) 様 150,000円
- ・庄内ヤクルト販売店親交会 様

★特別指定寄附

東日本大震災・原発被災者復興支援へ

- ・鶴岡市第六学区落語を楽しむ会 様 50,000円

お詫びと訂正

第79号 P4 2段目「★老人デイサービスセンターふれあいへ・鶴岡市新海町福祉部様 5,000円」は「タオル100枚」、「★特別指定寄附・瀧澤眼科病院様」は「滝沢眼科病院様」の誤りでした。お詫びして訂正いたします。

おだがいさま

第80号
平成31年2月1日発行
発行部数 48,800部



編集・発行
社会福祉法人 鶴岡市社会福祉協議会
鶴岡市泉町5番30号 (にこ♥ふる2階)
TEL 0235-24-0053 FAX 0235-23-9110
ホームページ <http://www.shk01.jp/>

鶴岡福祉センター TEL 24-0053
藤島福祉センター TEL 64-3100
羽黒福祉センター TEL 62-4534
鶴引福祉センター TEL 57-5300
朝日福祉センター TEL 53-2795
温海福祉センター TEL 43-2114

この広報紙は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。